



発行責任者 亀岡市立病院広報委員会
 〒621-8585
 京都府亀岡市篠町篠野田1-1
 TEL 0771-25-7313
 FAX 0771-25-7312
<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/>

病院理念

- 急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供します。
- 患者さまの権利を尊重し、理解と納得に基づいた患者さま中心の医療を行います。
- 地域医療機関と連携し、地域に求められる救急医療・高度医療に取り組み地域医療の向上に貢献します。
- 公共性と経済性を考慮し、市民の理解と信頼を得られる透明性のある病院運営を行います。

CONTENTS

各部署紹介

診療部	消化器科・循環器科	2
	一般内科	3
	外科・整形外科	4
	麻酔科	5
	小児科・眼科・泌尿器科	6
	皮膚科・神経内科・放射線科	7
診療技術部		
	薬剤科・放射線技術科	8
	臨床検査科・リハビリテーション科・栄養科	9
看護部	看護部	10
管理部		
	病院総務課・医事課・地域連携室	11
編集後記		12
アクセスマップ		12



広報誌「桔梗ーききょう」発刊にあたって

亀岡のまちなみが田園のじゅうたんに映え、保津川の白波が生き生きとして映をくぐり抜けて行くさまを見ると、自然のすばらしさをつくづく感じ「ふるさと亀岡」が、この包まれた自然の中でいつまでも安全で、安心して暮らせるまちであって欲しいと願っております。

当院も本年6月で開院6年目を迎えることができました。この記念すべき年に当院の情報発信の一つであります広報誌「桔梗ーききょう」を広報委員会が中心となって、新たに発行することができましたことを心から嬉しく思っているところでございます。

広報誌「桔梗ーききょう」の今号は、創刊号として病院の診療体制や診療科の取り組みを紹介し、市民の方のもとより地域医療機関の方々に病院のことを知っていただくことを中心とした紙面にしております。次号からは、各診療科の専門的な診療内容をやさしく解きほぐしていく講座的な記事と病気に対する不安や疑問点をお答えしていくコーナーや、また、病院の近況を皆様にお知らせして、透明性の確保を図り、信頼関係を築く身近な広報誌となるように努めていきたいと考えております。

近年、医療を取り巻く環境は大変厳しい状況にありますが、当院も健全な経営を計画的に推し進めて行くために「亀岡市立病院改革プラン」を策定いたしました。このプランに沿って、当院に課された役割を職員一同が責任を持って果たしていきながら、市民から信頼と愛され親しまれる病院となることを心から願い発刊のあいさつとさせていただきます。



亀岡市病院事業管理者 坂井茂子

● Gastroenterology&Hepatology

消化器科

消化器科は、現在4名の常勤医師が担当しております。各種検査（上部消化管内視鏡、大腸内視鏡、超音波内視鏡、腹部超音波、X線、CT、MRIなど）を活用し、消化器疾患（食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆嚢、膵臓）の診断、内科的治療を行っております。手術が必要となる患者様につきましては、外科と密接に連携し、診断、治療にあたります。

当科で行っている主な治療は、早期胃癌・大腸癌・食道癌に対する内視鏡的粘膜切除術（粘膜下層剥離術）、胃・大腸ポリープ切除術、食道胃静脈瘤に対する内視鏡的硬化療法、経皮内視鏡的胃瘻造設術、内視鏡的胆管結石除去術、肝癌に対する経動脈的塞栓術、ラジオ波焼灼療法、エタノール注入療法、ウイルス性肝炎に対するインターフェロン療法などです。

さて、胃癌、大腸癌、食道癌を早期発見するため

には、症状のないうちに内視鏡検査を受けていただく必要があります。上部消化管内視鏡（いわゆる胃カメラ）につきましては、苦痛の少ない経鼻内視鏡（鼻から挿入する胃カメラ）を導入しております。検査は原則予約制なのですが、2009年2月より経鼻内視鏡を2本に増備し、予約が入りやすくなっておりますので、ぜひご利用ください。ただ、肝硬変などで出血傾向のある患者様や、血液をサラサラにする薬を飲まれていて事前に中止できない患者様は、鼻血が出た時に止まりにくくなる恐れがありますので、従来の口からの内視鏡とさせていただきます。ご了承ください。

また、消化器症状でお悩みの方や、検診で精密検査が必要と言われた方など、お気軽にご来院ください。

● Cardiology

循環器科

循環器内科は、平成16年6月の病院開院と同時に診療が開始されました。当時は、常勤医2名で、内科業務もかけもつ1人2役というスタイルでした。

平成16年6月23日当院で最初の冠動脈造影検査（写真1）が行われました。

以来当科では、狭心症や急性心筋梗塞に対する経皮的冠動脈形成術、ステント治療、不整脈に対するペースメーカー治療、カテーテルアブレーション治療、下大静脈フィルターによる深部静脈血栓症の治療などを行っております。当院には心臓血管外科がないので対応できる疾患には制限がありますが、近隣の病院と連携して必要な治療が受けいただけるよう紹介しています。



写真1：最初の冠動脈造影

平成17年に当院は日本循環器学会から循環器専門医研修施設に認定されました。われわれは微力ながら救急隊とも助け合い、重症患者さんも可能な限り積極的に受け入れて治療を行ってきました(写真2)。

そんな中で、心肺停止患者の完全回復・社会復帰

例も経験することができました。今年は、さらに京都府立医科大学から循環器専門の医師2名が派遣されました。さらに専門性の高い診療が可能となって、皆様に貢献できれば良いと思います。



写真2：病棟で治療中

● Internal Medicine

一般内科

一般内科は、消化器科（食道、胃、小腸、大腸、肝臓、胆のう、膵臓などの病気を担当）、循環器科（心臓、血管の病気、高血圧、動脈硬化などを担当）、神経内科（脳、神経、筋肉の病気、認知症などを担当）のいずれの科にもあてはまりにくいご病状の診療を行います。担当するのは市立病院の常勤および非常勤の内科の医師で、いずれも内科全般の病気に対する知識と経験を十分に持ち合わせている医師です。

一般内科で診察させていただいた結果、消化器科、循環器科、神経内科の担当医と相談する必要があるときは、それぞれの科で再診させていただきます。また、市立病院に勤務していない他の分野の専門医に相談する必要がある場合は、適切な医療機関の専門医と十分連携をとって診療をすすめてまいります。



● Surgery

外科

外科についてご紹介致します。常勤医は3名で、外来の外傷処置を中心とした一般診療から手術や癌の化学療法まで幅広い診療を行っています。年間の手術件数は約250件で、その内約半数が全身麻酔による手術です。

スタッフは臨床経験が豊富で各外科領域の専門医資格を有しているのみならず、現在は全員が「がん治療認定医」資格を取得しており、近年複雑化している癌化学療法にも熱心に取り組んでいます。

当科の特色として、手術件数に占める鏡視下手術の割合が比較的高いことがあげられます。鏡視下手術は傷が小さく、「からだに優しい手術」と言われており、術後の回復が速やかなのが特徴です。この手術は胆石症や虫垂炎と言った腹部良性疾患は勿論のこと、さらには乳腺や肺の良性疾患、胃癌や大腸癌と言った悪性疾患にも診療ガイドラインに準じて積極的に対応しています。精度の高い手術をし、最新の抗癌剤治療を行っても残念ながら再発される患者様がおられます。一部の施設では、そのような場合診療を見切られいわゆる「がん難民」となる事が

社会問題とされています。当院では、そのような事が可能な限り無いように心がけ、手術の後も最新の知見に基づいた補助治療を行う一方で、緩和治療の必要な患者様には麻酔科医と協力してQOL（生活の質）の向上を目指しています。

乳癌の検診施設としては、府内でも最高ランクの資格を取得しており、また乳房温存手術にも熱心に取り組んでいます。内痔核に対しては手術以外にも薬物による硬化療法を積極的に行っています。お気軽にご相談ください。



腹腔鏡手術風景

● Orthopaedics

整形外科

整形外科は、手足のしびれ、関節の痛み（股・膝・足・肩・肘関節）、腰痛、先天性奇形、スポーツ外傷や労働災害・交通外傷による骨折や捻挫、関節炎・リウマチ疾患、高齢者の骨粗鬆症など広範囲に及ぶ運動器疾患の診察、治療をおこないます。

運動器、すなわち骨や関節、筋肉に異常があると、日常生活動作が制限され、生活の質も低下します。症状が軽いうちに正確な診断を下し、早期の治療をおこなうことが重要です。たとえば、高齢化による

骨粗鬆症（こつそしょうしょう）および、それに起因する大腿骨頸部骨折・脊椎圧迫骨折の増加や骨折による生活の質の低下が社会的問題になっています。これらの骨折は骨粗鬆症を早期に診断し、治療することで予防可能です。また、画像診断の進歩により、レントゲン撮影では診断できなかった骨折、関節損傷、関節炎がMRI 検査、CT検査で診断できるようになっています。当科では積極的にこれらの検査をおこない、正確な診断をおこなうようにしています。

整形外科は常勤医2名ですが、“急性期医療を中心とした適切かつ良質な医療を提供する”という病院の理念に則して、救急、外傷は可能な範囲ですべ

てに対応し、地域医療に貢献できるように努めています。

● Anesthesiology

麻酔科

当院での麻酔科の仕事には、以下のようなものがあります。

1. 手術室での手術麻酔
全身麻酔、脊椎麻酔、硬膜外麻酔など
2. ペインクリニック外来
3. 緩和医療（入院、在宅緩和ケア）

1. 手術麻酔

当院では、常勤の麻酔科医が、術前に麻酔の説明をさせていただき、患者様に安心して手術麻酔を受けていただけるように努めています。全身麻酔に際しましても、可能な限り硬膜外麻酔という傷の周りにのみ効く麻酔を併用して、術中だけでなく、術後の痛みを緩和するようにしています。このようにして、“痛みのない、すっきりとした目覚め”を目指した麻酔を施行しています。

2. ペインクリニック外来

神経ブロックや薬物療法などを併用して、痛みの



コントロールをするペインクリニック外来を開いています。この外来には、帯状疱疹および帯状疱疹後神経痛、腰下肢痛（椎間板ヘルニアや、脊柱管狭窄症など）、頭痛、肩こりや手足のしびれ、創部痛（手術やけがのキズの痛み）、癌の痛みなどの患者様が受診されます。痛いけれども、どの科を受診したらよいかわからない・・・という方もペインクリニック外来でご相談ください。

3. 緩和医療

悪性腫瘍（癌）、進行性の神経難病などで治療中、および治療を終えられて療養中の患者様の痛みやしびれ、その他の症状コントロールをして、治療や療養生活を支援いたします。当院には緩和ケアチーム、緩和ケア病棟はありませんが、緩和ケア研修を受けた医師がおりますので、当院での入院療養、在宅療養の支援や、緩和ケア病棟、ホスピスなどでの療養についてもご相談ください。



● Pediatrics

小児科

小児科は月曜から金曜までの毎日、午前是一般外来を開いて風邪や腸炎などの急性疾患に対応しています。また、午後は予約外来となっており、年間を通じて月曜日は先天性心疾患中心の循環器外来、火曜はいろいろな予防接種外来、そして木曜日はアトピー性皮膚炎や喘息などのアレルギー疾患や不整脈中心の循環器疾患の外来となっています。水曜と金曜については季節によって変更し、春から夏にかけては学校心臓検診の精密検査の外来が中心となり、11月から1月にかけてはインフルエンザワクチンの予防接種外来として予約をとっています。

また、空いている時間があれば本来の予定以外の予約を受けることもあり、急性疾患の時間外受診希望に対しても可能な範囲で対応しています。

残念ながら、当院は現在小児科一人体制のままであり、救急医療に関してはなかなか十分な対応が出来ない状態です。しかし、京都市より北の京都府内で小児循環器医（子供の心臓の専門医）が毎日勤務しているのは当院の小児科のみであり、外来でできる程度の心臓の検査なら時間さえあれば曜日にこだわらずに検査ができることが現在の最大の特徴とい

えるでしょう。ただし、検査は時間が必要なので、必ず電話で予約してください。



非常勤診療科

● Ophthalmology

眼科

眼科では、白内障、緑内障、糖尿病網膜症といった眼の3大成人病をはじめとして、ドライアイ、結膜炎、眼精疲労など眼科疾患全般に対応しています。白内障手術・レーザー治療や種々の眼科検査も行っています。

外来診療日は、毎週月、火、木曜日です。

● Urology

泌尿器科

泌尿器科では、尿路（腎臓、腎盂尿管、膀胱、尿道）、男性生殖器系（精巣、精管、精嚢、前立腺）、内分泌（主に副腎）の病気の診療を行っています。

外来診療日は、毎週火曜日（午前）及び毎月第二・第四木曜日（午後予約のみ）です。

● Dermatology

皮膚科

皮膚科では、乾癬（かんせん）などに有効なナローバンドUVBによる光線療法やホクロの切除などの小手術を随時行っています。ただし、レーザー治療は行っていません。

外来診療日は、毎週水曜日・金曜日です。

● Neurology

神経内科

神経内科では、脳や脊髄、神経、筋肉の病気の診療を行っています。

外来診療日は、月1回、毎月第二月曜日です。

● Radiology

放射線科

放射線科では、1.5TのMRI、マルチスライスCTなど最新の機器を用いて撮像を行い、診断に必要な画像を放射線科医が読影しレポートを各科に提供しています。人間ドックの胸部単純写真やマンモグラフィ、脳MRIの画像も放射線科医が読影を行



っています。また、当院はマンモグラフィ検診精度管理中央委員会のA認定施設であり、読影認定医師による読影も行っています。地域の診療所や病院からも広く紹介を頂き、MRI・CT・マンモグラフィの撮像及び読影を行い、読影レポートにて結果を報告させていただいています。当科では、診断業務を通して地域医療に貢献できるよう頑張っています。



● Pharmacy

薬剤科

当院薬剤科の業務は、薬をつくることだけではなく、高カロリー輸液や抗がん剤など注射薬の調製、入院患者様のベッドサイドでの薬の説明、医療スタッフへの医薬品の情報提供、薬の血中濃度モニタリングなどに取り組んでいます。また、患者様に、より安全な投薬を受けていただくよう業務に励んでいます。

チーム医療にも積極的に参加しており、栄養サポート、感染対策、糖尿病教室、医療安全対策などにも携わっております。

日々進む医療技術に対応するため、学会・講習会などに参加し、知識や



技術の向上に励んでおります。

お薬のことで疑問などがございましたらお気軽にご相談ください。



● Radiology

放射線技術科

放射線技術科では、現在非常勤の放射線科医師3名と常勤の診療放射線技師4名が日夜業務を行って

います。主な装置としては、体の輪切りの写真を撮影するCT装置や、放射線を使わず磁場を使用して任意の断面を撮影することができるMRI装置、血管に直接細い管（カテーテル）を挿入して検査を行う血管撮影装置や乳癌の早期発見に有用なマンモグラフィ、骨密度を測定する骨塩定量測定装置など急性期医療を行うのに必要な高度医療機器を備えています。

また診療放射線技師も24時間体制で業務を行っていますので、必要な時にはすぐに検査が可能です。

どうぞ安心して受診してください。



● Clinical Laboratory

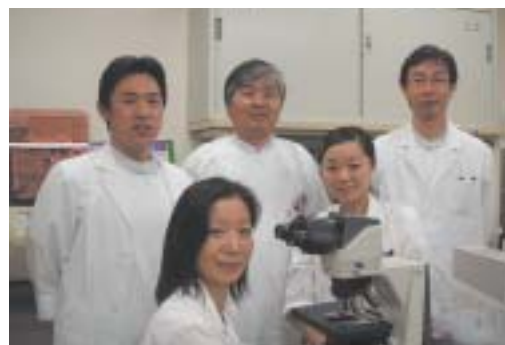
臨床検査科

当院の臨床検査科は、3名の臨床検査技師と2名の非常勤臨床検査技師の計5名が従事し、検体検査や生理検査、緊急検査に対応しております。検体検査としては患者様の血液・尿・便などの性状分析やインフルエンザなどの感染症検査、生化学検査を行い、生理検査では超音波検査や心電図・肺機能検査など患者様から直接生体情報を得る検査を行っています。また、夜間休日の緊急検査は呼出し体制で365日救急医療に携わっています。

スタッフはこれらの検査に対応出来る様に各種専門認定の資格習得や勉強会に参加し、技術・知識の向上に励んでいます。

現在、超音波検査士・認定輸血検査技師・NST専

門療法技師が在職しています。検査のことで分からないことがあればお気軽にご相談ください。



● Rehabilitation

リハビリテーション科



リハビリテーション科では、様々な障害を持った人に対し、その障害を可能な限り改善させ、福祉用具などを使用し、患者様に自立した生活が送れるように援助、支援します。

当院では運動器リハビリテーション（Ⅰ）、脳血管疾患等リハビリテーション（Ⅲ）の施設基準認可を受けており、常勤理学療法士3名にて、骨折、靭帯損傷等の外傷や痛みなど整形外科疾患を中心に、その他の疾患に対しても治療を行っています。まずは、主治医にご相談ください。

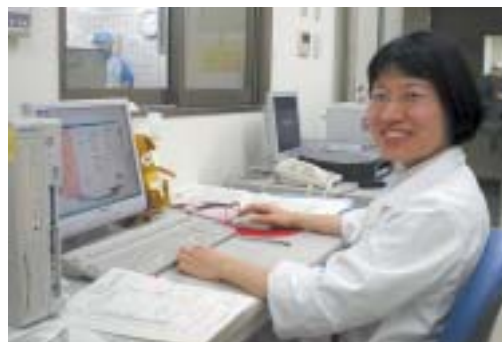
● Nutrition

栄養科

栄養科では、入院患者様への食事の提供と入院・外来患者様への栄養指導を行っています。また、栄養サポートチーム（NST）の一員として、チーム回診等に参加しています。

入院中の食事は、医師により食種や制限の内容が決められ、その指示に基づき提供しています。噛むことや飲み込むことが困難になってきた方には、食べやすい形に工夫して、提供しています。

食事療法が必要とされる患者様には、医師の指示に基づき、食事についての指導を行っています。



● Nursing Department

看護部

私達看護師は、病院スタッフの中でももっとも多く患者さまに接する機会があります。

患者さまの状況を把握し、ニーズに沿った看護ができるよう努めると共に、担当医を中心とするチーム医療におけるメンバー間（各職種間、地域医療・福祉機関等）の橋渡しの役割を担う立場にあります。

亀岡市立病院では、安心安全な療養環境と患者さま一人ひとりに満足いただける看護が提供できるよう、看護師の配置基準を高くしています（一般病棟入院基本料施設基準7：1を取得）。看護体制・方法は、看護の責任と看護の継続・質を高めることを目指し、一人の患者さまには、受持ち看護師を決め、更に24時間対応できるように受持ちを補佐できる小グループで担当しています。

また、各種活動（医療安全、感染予防、褥瘡、NST、看護展開・研究、研修会の開催等）に積極的に取り組むとともに、個々のスタッフが研鑽できる環境づくりに努めています。



医療安全研修（ロールプレイング）



感染対策研修（オムツ交換）

開院から6年目を迎えた今、自治体病院として、高齢化社会に対応すべき在宅ケア、地域医療・福祉施設との看護連携が求められていると実感しています。当院の外来でも在宅ケア相談室（褥瘡予防、適切なオムツ交換、栄養管理、感染予防管理、緩和ケア等）が設置できるよう進めていきたいと考えています。

病院総務課

病院総務課では、病院運営に係わる総合的な企画、立案や経営計画の策定。また、職員の人事、給与、福利厚生から財務管理、施設管理、医療機器、医薬材料等の購入まで様々な事務処理を行っております。

医事課

医事課では、主に外来診療費や入院費などの医療費の計算・請求を行っております。スタッフは、常勤職員とアウトソーシングのスタッフで構成されており、日常の受付や会計などの業務はアウトソーシングのスタッフが担当し、医事全般の業務管理や調整・連携は、常勤職員が担当しています。全力疾走の毎日の中、『日々進化』をモットーに頑張っています。

地域連携室

地域連携室では、専任の職員2名及び医療ソーシャルワーカー1名を配置し、主に市内の開業医の先生方や病院の先生方などから紹介され、受診や検査などに来られた患者様のお手伝いをいたします。また、当院に入院された患者様で退院後の在宅生活に不安があるといった患者様やご家族様の相談・支援、

及び、介護保険や身体障害者手帳に関する手続きや各種公費制度のご利用に関するアドバイスなどを担当させて頂いております。

何かお困りのことがございましたら、お気軽に連携スタッフまでお声かけください。



編 集 後 記

今回は当院として初めての広報誌を出すということでみんなが大変力を入れてアピールポイントを書いてくれました。編集部は慣れない仕事で手探りでしたが何とか発刊でき、ほっとしております。

さて、広報誌のタイトルをどうしようかいろいろな意見が出ましたが、「桔梗」と致しました。ご存知のように桔梗は明智光秀の家紋の花であります。亀岡市の花としては地名にも採用されています「つつじ」もあります。どちらもきれいな花ですが400年以上前にこの丹波地方をわずかな期間治めただけであるにもかかわらず今でも慕われ続けている光秀公に少しでもあやかり、市民に親しんでいただける病院にしたいという願いを込めてこのタイトルに致しました。これからも亀岡市立病院ならびに広報誌「桔梗」をどうぞよろしくお願い致します。

広報委員会委員長 田中宏樹（外科部長）



JR馬堀駅から徒歩約5分／京都縦貫道篠インターから車で約5分／駐車(輪)場有

亀岡市立病院

〒621-8585 京都府亀岡市篠町篠野田1-1
TEL 0771-25-7313 FAX 0771-25-7312
<http://www.city.kameoka.kyoto.jp/hospital/access/index.html>